



町花：山百合

議会だより

9 月定例会

No.173

古殿町議会

令和7年10月20日発行

令和6年度一般会計の決算を認定	2
教育委員会委員の任命に同意	6
一般質問：移住定住施策など4議員が12問	12
まちの企業紹介：竹原化学工業(株) 福島工場	18



式典で歌を披露しました
(10月1日ふるどの荘)



令和6年度 決算の認定

9月定例会

9月定例会は12日から18日まで、7日間の会期で開催されました。
令和6年度各会計の決算認定や教育委員会委員の任命の人事案件
など、20議案が原案の通り可決されました。

令和6年度 一般会計

議会費 6,543万円(1.4%)
議会活動のためのお金

総務費 9億8,938万円(20.8%)
一般的な管理事務のためのお金

民生費 9億5,011万円(20%)
障がい者や高齢者に対する福祉の充実、
子育て支援などにかかるお金

衛生費 3億3,295万円(7%)
環境保全、疾病予防、健康増進などにかかるお金

労働費 9万円(0%)
労働福祉の事業に必要なお金

農林水産業費 2億9,361万円(6.2%)
農・林業振興のためのお金

商工費 1億8,706万円(3.9%)
商工業や観光の振興のためのお金

土木費 5億9,566万円(12.6%)
道路、公園や区画整理などの事業に要するお金

消防費 2億933万円(4.4%)
消防、防災事業などに要するお金

教育費 4億478万円(8.5%)
学校教育、生涯学習、スポーツ振興
などの事業に要するお金

公債費 7億2,315万円(15.2%)
町の借金を返済する元金と利子などのお金

令和7年度への繰越金
1,701万円

差引額(黒字額)
1億4,381万円

歳出

47億5,155万円

歳入

49億1,237万円

町税

4億8,798万円(10%)

町民税や固定資産税、
軽自動車税、
たばこ税などの税金

使用料等

3,356万円(0.7%)

施設の使用料など

繰入金

3億18万円(6.1%)

繰越金

1億5,012万円(3%)

前年度からの繰越金

その他

1億1,407万円(2.3%)

寄付金など

譲与税等

2億7,134万円(5.5%)

特定の国税を一定の基準で
国が配分するお金

地方交付税

24億7,139万円(50.3%)

国から交付されるお金

国県支出金

5億3,817万円(11%)

特定の事業に対し、
国や県から交付されるお金

地方債

5億4,556万円(11.1%)

事業のために借り入れたお金

※決算額の千円単位、割合の小数点以下を端数処理しています。



代表監査委員
さ かわ しげとし
佐川 重俊 氏



監査委員
ね もと しげかず
根本 重一 氏

監査の意見

- 町税以外の財源確保を ふるさと納税、町民水泳プール使用料などの自主財源確保にも積極的に取り組むこと。
- 専門部署の創設 庁内 DX など特定の課題を解決し、将来にわたって持続可能な行政運営に努めるよう求める。
- 人材の確保・育成を 各種企画の参画、CM大賞、フルドノタイムなど、行政と議会との真摯で 積極的な議論を経た施策で、町の未来を切り開く人材が育つことを願う。

町民の暮らしを豊かにする 令和6年度事業



町営住宅前木団地建築
1億6,064万6,866円



交流人口拡大事業「フルドノタイム」
365万1,240円



町道下論田鵬巣線改良工事
1億3,190万円(繰越分を含む)
6年度決算額は1,034万円



三株山登山道用地取得
2,362万1,000円

これからますます住みよい
町になるね！



古殿中学校開校50周年記念事業
150万円

令和5年度と比べて収入は3億1,153万円、支出は3億84万円の増となり、多くの事業について審議が行われた。

令和6年度 一般会計

決算内容を徹底検証

今後は企業版ふるさと納税も

岡部 ふるさと納税の業務委託料の支払いはどのようになっているのか。

総務課長 納税額に応じて支払いをしている。委託料、送料などの経費は納税額の20%以内となっている。

岡部 昨年より2倍以上の増額になった要因は。

総務課長 新たに加わった返礼品で、高額なオーダーの革製品の納付額が約570万円となり好評だったと考える。

岡部 ふるさと納税での米の返礼品に対する考えは。

総務課長 ここ数年検討した。しかし農家の方からの米の買い付けや保管が難しく、実現できない状況だ。今後は企業版ふるさと納税にも取り組む。

産業振興の進捗は

野崎 フルドノタイムの成果は。

産業振興課長 令和6年度決算額は令和7年度事業の準備経費であり、令和7年度は37プログラムで参加者が延べ620人。町外からの参加者は358人だった。

野崎 道の駅ふるどの拡張に伴う出店希望の調査結果は。

産業振興課長 9件あり、加工販売や食堂などの応募があった。

岡部 大豆生産の実績は。

産業振興課長 16事業体で約12・3ヘクタール。栽培方法の研修をしたり、普及所の方などに定期的に見てもらったりした。

生活インフラの状況

野崎 道路除草事業の委託料が昨年より増額しているのは機械で対応したためか。

地域整備課長 機械と人力で部分が含まれる。人力は面積当たりの金額。ガードレールなどの障害物があるときは両方必要となる。

岡部 町道越代高房線の道路改良事業の内容は。

地域整備課長 頂上の急勾配緩和工事の測量設計であり、実施の結論には至っていない。

岡部 農道の維持管理の内容は。

地域整備課長 敷砂利、除草、路肩の崩落・法面対策で、水路も含まれる。

一般会計決算討論

思い切った人口減少対策を

岡部 淳一 議員

人口減少と過疎化の波の中、画期的な方向性を見つけられない状況で、思い切った方向性が求められている。令和6年度を通した施策実施において、新たな提案はなかった。若者が町外に流出している現状を見つめての施策実施が求められているとして反対する。

反対討論

福祉向上に有効な施策である

鈴木 隆 議員

議会で議決された予算の決算であり、令和6年度の事業は町民の生活、福祉向上に有効な政策だった。財源の確保が厳しい中、実質収支は黒字であり、適正な運営として賛成する。

賛成討論

認定

起立多数

簡易水道料金改定は3年程度の経過を

鈴木 固定資産購入費の内訳は。

地域整備課長 今まで借地だった沢地区の土地を買収し、借地を解消した。

鈴木 減価償却費の資産の内訳は。

地域整備課長 土地、建物、構築物、機械装置、公用車となっている。

鈴木 水道料金の改定の予定は。

地域整備課長 令和6年度から企業会計が始まり、水道料金でまかなえない分を一般会計から補填している。単年度で見るとはなく、3年程度の経過を見ながら料金改定していきたいと考える。

事業会計決算

水道料金は適正か

納税額が増えた ふるさと納税返礼品



税条例の改正

軽自動車税の納付期限が5月25日に



軽自動車税の納付期間拡大

4月1日を基準に課税している軽自動車税の新規登録・廃車等の状況を確認できる期間を確保し、より適正な課税を図るため、納付期限を5月25日とする。

◎変更点

現行 4月25日

令和8年度より
5月25日に

育児部分休業制度の拡充

育児のために勤務しないことを認める部分休業制度を拡充するもの。

◎変更点

子が満3歳になるまでの期間、1年に10日の範囲内で勤務しないことが認められた



こばり ともひろ
小針 智尋 氏

住所
鎌田字長光地

期間
令和7年10月1日～
令和11年9月30日



さがわ ともえ
佐川 友恵 氏

住所
松川字薄木

期間
令和7年10月1日～
令和11年9月30日

教育委員会委員

の任命に同意

町の貯金と借金

借金 50 億 5,673 万円

貯金 41 億 6,664 万円



借金は 昨年に比べて 1 億 6,851 万円減少しているが、どんなことに使われたのか。

役場庁舎エレベーター改修工事 3,260 万円

即効性のある防災・減災のための地方債「緊急防災・減災事業債」が、役場のエレベーター改修に充てられた。

町道小松川須巻線法面对策工事 1,970 万円

自治体が単独で防災インフラを整備するための地方債「緊急自然災害防止対策事業債」が法面对策工事に充てられた。

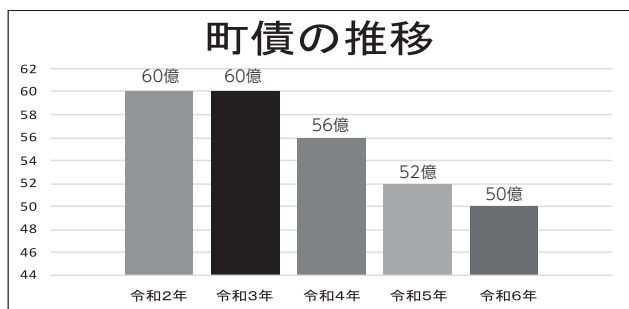
貯金は 昨年に比べて 1 億 4,273 万円増加している。内容はどうなっているのか。

イセ食品跡地・三株山登山道用地取得 6,162 万円

公共の利益のために取得する必要がある土地を買う貯金（基金）「土地開発基金」でイセ食品跡地と三株山登山道用地を取得した。

中学生の放課後学習 108 万円

ふるさと納税で得られた寄付金を、事業に使う前に貯金しておく「ふるさと創生基金」が 1,117 万円増加した。その基金のうち 108 万円は中学生学力向上事業として放課後学習の経費に充てられた。



借金（町債）は減ってきているね。

税金などの滞納額

収納率 町税は前年度より減少し 96.3%。

確定した納付されるべき額（調定額）のうち、実際に納付された額（収納済額）の割合。収納率の数字が高いほど、税の公平な負担が図られており、安定した財政運営を行うことができる状態といえる。

不納欠損額 町税 43 万円、国民健康保険税 14 万円、介護保険料 111 万円。

納付の見込みがたたないため、納めていただくことができないと決定することを不納欠損処分という。

合計 5,529 万円

主な内訳

○町税 (町民税・固定資産税・軽自動車税)	
○住宅使用料	1,883 万円
○大綱庵使用料	710 万円
○国民健康保険税	5,000 円
○介護保険料	2,650 万円
○後期高齢者医療保険料	279 万円
	4 万円

○は賛成、×は反対、緑川議長は採決に加わらない。

議案番号	議案名	採決	根本重一	根本太郎	鈴木隆	野崎喜彦	佐川勇司	佐藤一夫	岡部淳一	木戸久康	松崎法通	緑川栄一
議案 第39号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	育児の部分休業制度の拡充を行う(P6に掲載)											
議案 第40号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	育児の部分休業、介護両立支援制度等の改正											
議案 第41号	古殿町税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	地方税法の一部改正による所要の改正等(P6に掲載)											
議案 第42号	古殿町税特別措置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	省令改正による所要の改正											
議案 第43号	古殿町特定復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	省令改正による所要の改正											
議案 第44号	古殿町辺地総合整備計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	論田辺地の総合整備計画の変更											
議案 第45号	令和7年度古殿町一般会計第2次補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	普通交付税決定などにより7,823万5,000円を増額する											
議案 第46号	令和7年度古殿町国民健康保険特別会計第2次補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	繰越金確定により52万9,000円を増額する											
議案 第47号	令和7年度古殿町介護保険特別会計第1次補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	繰越金確定などにより4,973万6,000円を増額する											
議案 第48号	令和7年度古殿町後期高齢者医療特別会計第1次補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	繰越金確定により125万6,000円を増額する											
議案 第49号	令和7年度古殿町宅地造成事業特別会計第2次補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	繰越金確定により2,302万6,000円を増額する											

9月定例会

○は賛成、×は反対、緑川議長は採決に加わらない。

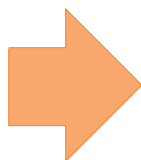
議案番号	議 案 名	採決	根本重一	根本太郎兵衛	鈴木隆	野崎喜彦	佐川勇司	佐藤一夫	岡部淳一	木戸久康	松崎法通	緑川栄一
議案 第50号	令和6年度古殿町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
	歳入49億1,237万円、歳出47億5,155万円(P2～5に掲載)											
議案 第51号	令和6年度古殿町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	歳入5億2,987万円、歳出5億488万円											
議案 第52号	令和6年度古殿町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	歳入8億6,637万円、歳出8億1,766万円											
議案 第53号	令和6年度古殿町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	歳入6,669万円、歳出6,666万円											
議案 第54号	令和6年度古殿町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	歳入2,304万円、歳出2万円											
議案 第55号	令和6年度古殿町簡易水道事業会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	収益的収入9,221万円、収益的支出8,971万円、資本的収入6,343万円、資本的支出7,101万円(P5に掲載)											
議案 第56号	令和6年度古殿町下水道事業会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	収益的収入1億7,038万円、収益的支出1億6,969万円、資本的収入1億3,388万円、資本的支出1億4,832万円											
議案 第57号	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	佐川友恵氏を再任する(P6に掲載)											
議案 第58号	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	小針智尋氏を任命する(P6に掲載)											

総務常任委員会活動

中学校校舎周辺のイノシシ被害を改善

令和6年12月の総務常任委員会で中学校校舎周辺のイノシシ被害を視察した。

その際に「鳥獣被害対策実施隊に助言をいただき、ワイヤーメッシュなどの対応を考えては」と進言した。



中学生の安全を強化

町では早急に対応し、鳥獣被害対策実施隊によるワイヤーメッシュ設置が行われ、中学校のイノシシ被害が抑えられていた。

議会トピックス③

【竹貫正調盆踊り】 8月14日(木)、竹貫区民広場で盆踊りを実施。区の事業として各種団体の協力のもと踊りや夜店などで盛大な賑わいを見せ、区内外の人たちとの交流の場となり、皆さん楽しく過ごしました。準備、運営、片付けなどお疲れさまでした。(松崎法通)

常任委員会の活動

総務常任委員会

工事の進捗を調査 前木団地建築事業等を視察

総務常任委員会は前木団地建築事業、山上地区の中ノ内や戸草などの町有林を視察しました。現地視察後、視察箇所について意見交換をしました。



前木団地の進捗について説明を受ける議員

意見

(前木団地)

- ・工期が長いのでは。
- ・町産材を利用すべきでは。

(町有林)

- ・伐期を過ぎたものは販売するべき。
- ・販売の際は毎木調査をしてから入札しては。

産業建設常任委員会

貸与された現状を確認 旧イセ食品跡地等を視察

産業建設常任委員会は旧イセ食品跡地や町民水泳プール、屋内ゲートボール場を視察しました。現地視察後、視察箇所について意見交換をしました。



貸与されている旧イセ食品跡地を視察する議員

意見

(旧イセ食品跡地)

- ・門柱を撤去すべき。
- ・県道側からの進入路の角を拡幅しては。

(町民水泳プール)

- ・年間利用者が増えているため、維持補修などの管理を。
- ・天井改修工事後に改修されていない箇所を修理すべきでは。

(屋内ゲートボール場)

- ・屋外トイレの屋根の塗装が必要ではないか。

群馬県下仁田町・上野村

住民が戻るまちづくりを学ぶ



総務常任委員会研修

総務常任委員会の委員5名は7月15日（火）から17日（木）まで、群馬県下仁田町と群馬県上野村で視察研修を行った。2自治体ともに少子高齢化に対して先進的な取り組みをしており、人口減少に悩む自治体にとっては大いに参考になるものであった。

下仁田町

○ねぎとこんにゃく奨学金制度

学校を卒業後、地元に住居した場合は奨学金の返済を段階的に全額補助する。その原資は企業版ふるさと納税で賄われる。結婚祝金や育児支援金、小中学校入学祝金などの支援も充実。

上野村

○村民の雇用の場の確保

バイオマス発電所、農産物6次化加工所など多くの施設を村が設置し運営。村民の雇用の場となっている。移住者の受け入れ支援も充実しており、150世帯用意した村営住宅は満杯。

町村議会広報研修会 読まれる広報紙とは

議会だより編集特別委員会研修

議会だより編集特別委員会の委員5名は8月28日（木）にLINE CUBE SHIBUYA（渋谷公会堂）で町村議会広報研修会に参加した。

全国町村議会議長会主催で、インタビュー記事を取り入れた紙面づくり、スマートフォンを活用した動画撮影の基本、議会活性化と連動した広報紙づくりで住民の政治参加を促す手法などを3名の講師から学んだ。

○研修を受けて、古殿町議会ホームページのQRコードを掲載します。



研修を受ける委員

一般質問

町政を質す

- ☑ 町民の声を伝える
- ☑ 町政に生かす
- ☑ 町の考えをただす

一般質問は9月17日に4人の議員が12問の質問を行いました。質疑の一部を要約してお伝えします。

- | | |
|---|---|
| <p>根本 重一 議員 13</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 本町の熱中症対策について (2) 公共施設の使用状況と維持管理について (3) 地域おこし協力隊について | <p>鈴木 隆 議員 15</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 無痛分娩に対する助成について (2) 企業版ふるさと納税を活用した奨学金制度等について (3) 移住定住等に対する取り組みについて |
| <p>野崎 喜彦 議員 14</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 移住・定住促進策について問う (2) 令和7年度の主な事業の進捗について問う (3) 鳥獣被害対策強化について | <p>岡部 淳一 議員 16</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 町民生活を守る道路事情の現状は (2) コメ増産への転換に町としてどう対処すべきなのか (3) 町民から寄せられている町施策内容について次の2点を伺います |

熱中症対策

Q 熱中症の発生は

A 把握できていない。高齢者等の状況は民生委員から報告される



涼み処ののぼり旗が目印

根本 地域の公共施設の暑さ対策は。
町長 宝くじの助成事業により、6行政区の施設について空調設備を整備した。残りも随時整備する。

根本 教育現場の熱中症予防は。
町長 「保健だより」での予防法の呼びかけや水筒持参のお願い、学校内では暑さ指数を測定して活動可否を判断し、授業・部活動の内容を工夫している。
根本 福島県が推進している「ふくしま涼み処」の利用は。
町長 「涼み処」は町内公共・民間合せて4カ所登録している。猛暑時にご利用いただいている。

根本 高齢者や一人暮らし世帯に向けた地域での見守りや情報発信は。
町長 民生委員が訪問し、高齢者の見守りと声かけをしている。
根本 利用が低調な施設や需要が高まっている施設の分析は。
町長 それぞれの要因を把握し、改善に向けて対応する。

根本 老朽化が進む施設の建替えや改修は。
町長 「公共施設個別施設計画」に基づき、修繕・改築・廃止の検討を行っている。
根本 施設への再生エネルギーの導入は。
町長 既存施設への導入は検討していない。

公共施設の利用

Q 公共施設の利用状況は

A やぶさめアリーナの利用者が増えている



町外利用者が増えた
やぶさめアリーナ

根本 施設の集約化や複合利用といった効率的な運営の方向性は。
町長 状況に応じて、今後検討していく。

根本 地域おこし協力隊の応募がない原因は。
町長 町のホームページのほか、協力隊募集専

地域おこし協力隊

Q 地域おこし協力隊の現状は

A 現在は不在。新たな隊員を募集している

根本 募集方法や情報発信の改善は。
町長 他の自治体の取組を参考にして改善する。
根本 協力隊の制度を効率的に活用するための具体策は。
町長 協力隊の募集対象や活動内容を精査し、卒業された隊員に募集に携わっていただくなど、幅広い見地から見直す。

移住・定住策

Q 移住・定住促進を問う

A 行政評価としては大変厳しいものと捉えている



のざき よしひこ 議員

野崎 移住者・定住者を受け入れるための雇用の場の確保を。

町長 町内の事務所で求人を行っているので、情報提供を行う。

野崎 移住・定住にはわが町を目指してくれることが望まれる。取組は。

町長 子育て支援や住宅支援などの取組で流入につなげたい。

野崎 移住・定住策の実績と行政評価は。

町長 令和元年度で2件の実績がある。行政評価としては大変厳しいものと捉えている。

野崎 交流・関係人口創出・増加への取組は。

町長 「フルドノタイ

Q 令和7年度の事業推進を問う

A 前木団地の入居募集は令和8年10月頃

主要事業



新たなプログラムが増えたフルドノタイム(流鏑馬の練習会)

ム」は体験交流ができる効果的な事業だ。こうした取組をきっかけに町に関わってもらいたい。

野崎 定住対策と教育支援の両立を目的とした「奨学金返済支援・補助」の考えは。

町長 現在のところその考えはない。

野崎 「道の駅拡張事業」の基本・実施設計はどの段階にあるのか。

町長 検討委員会の意見も参考に、具体的なレイアウトを作成中。

野崎 前木団地建設事業の進捗と入居開始時期は。

町長 8月末現在で37%の進捗。入居開始は令和8年10月頃から入居募集を開始予定。

野崎 デマンドバス運行事業の現状と課題は。

町長 国交省との協議で、自家用有償制度を活用しないと運行できないことから、これから法定協議会の設置の準備をする。

鳥獣被害対策

Q 鳥獣被害対策の強化を

A 「安全性の確保」が重要



鳥獣被害対策実施隊の皆さん

野崎 「緊急銃猟」の4つの条件とは。

町長 「場所」「緊急性」「方法」「安全性の確保」などの制限と措置。

野崎 「緊急銃猟」の訓練予定は。

町長 県内の訓練実施状況を見極め、国・県の指導を仰ぎ検討する。

野崎 「緊急銃猟」を実施する場合の課題は何か。

町長 通行の禁止・制限の実施、住民の避難、捕獲関係者の配置等「安全性の確保」が主なもの。

人口減少対策

Q 無痛分娩に対する費用助成は人口減少対策に資するのでは

A 現時点では考えていない



鈴木 隆 議員



鈴木 無痛分娩は妊婦の精神的、身体的負担軽減につながると思うが、どのような考えか。

町長 出産時、長時間にわたる痛みによる疲労軽減が期待される。

鈴木 無痛分娩による出産割合が増えているが、わが町は。

町長 町内の方の利用は把握していない。

就学支援

Q これからの奨学金制度はUターン対策に資するべき

A 他の自治体で実施していることは認識している



鈴木 ふるさと納税、企業版ふるさと納税を活用し、基金財源として運営する奨学金制度や、現行制度の見直しを行う考えは。

町長 現時点でその考えはない。

Q 移住定住対策を含む人口減少対策の具体的な施策は

移住定住策

**A 人口減少自体は日本全体の問題
住民が安心安全に暮らせるよう環境整備する**

鈴木 わが町の移住定住対策は。

町長 定期的に首都圏での移住定住相談会等に参加している。

住宅支援では、町外から町に移住定住を目的に住宅取得する子育て世帯や、若者世帯を対象に「移住定住促進補助金」制度がある。

鈴木 住宅建築の際に町産材を一定以上使用することで支援をする「町産材利用住宅建築支援事業補助金」制度は町外からの転入者に対して加算措置を行っている。

鈴木 人口減少対策としてUターン後、奨学金返済免除制度の考えは。

町長 現時点でその考えはない。



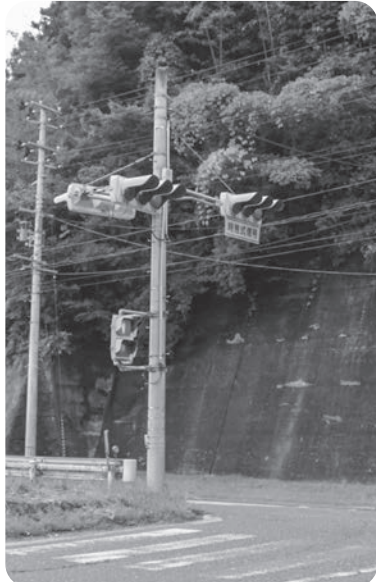
親子と一緒に給食参観（こども園）

第5回鎌田区民大運動会開催 9月14日（日）、「第5回鎌田区民大運動会」がやぶさめアリーナで開催された。当日は宝ひろいをはじめ、スリッパ飛ばし競争、鎌田ウルトラクイズ、パン食い競争と、全6種目の方部（団体）競技で大いに盛り上がった。最後は恒例の「大抽選会」が行われ、当選発表のたびに歓声が上がリ、会場は笑顔と熱気に包まれた。（根本重一）

道路整備

Q 町民生活を守る道路事情の現状は

A 舗装補修や法面等の除草などを委託している



完成が待たれる国道349号
(鎌田字長光地地内)

これまでの一般質問でもお尋ねしてきた。今後の対策を伺う。

岡部 国道349号の鎌田～田口間の完成見通しは。

町長 県のほうで鋭意努力していると伺っている。

岡部 県道勿来浅川線、三株下市萱小川線の改良工事の見通しは。

町長 要望しているが、実施の見通しはない。

岡部 町道改良を予定しているところはあるか。維持管理の具体的な対策は。

町長 4路線5カ所を計画している。舗装補修、法面等の除草、側溝整備、路肩の崩落対策などを委託業務で対応している。

岡部 林道の維持管理はどう対応しているのか。

町長 町道等と同じ。

岡部 人口減少や住居減少・移転により、住民参加型の道路維持協力はどう見ているのか。

町長 ますます難しくなると認識している。



おかべ じゅんいち
岡部 淳一 議員

農業政策

Q コメ増産への転換にどう対応すべきか

A 現状の農地を守ることが重要だ

政府は米作りを減反から増産へと舵を切った。町の対応を伺う。

岡部 方針転換の認識は。

町長 現在までの減反政策から増産へ転換するものとの認識である。

岡部 町内の米作農家の実態は減反政策以降どう変化したのか。

町長 減反政策に伴い主食用米の耕作者や耕作地の減少が進んだと認識している。

岡部 打ち出された大規模化やスマート農業は町の現状に見合ったものか。

町長 当町のような中山間地域では農地の大規模化は難しいが、スマート農業は取り組めるものもあると考える。

岡部 中山間地域の実態において増産するためには、どんな施策が重要だと思うか。

町長 増産することも重要だが、現状の農地を守ることが最も重要だと認識しており、担い手を中心にするところから農地の集積・集約化を進めることが必要だ。



稲刈り作業を進める農家

その他の質問
「町民から寄せられている町施策内容について」の質問も行った。

追跡レポート

その後 どうなった?

テーマ 公衆トイレの洋式化について

Q 令和3年12月一般質問から

町の公共施設や公衆トイレの洋式化は。

A 町長答弁

公共施設については順次洋式化を進めている。

洋式の水洗トイレは
清潔に使えるね。

しみもっちー

平成27年の
中学生議会で誕生!



その後の
対応

子どもから高齢者まで利用者が増えました 屋内ゲートボール場の外トイレを改修

使いづらいとの声があり、勤労者体育センターのトイレなどを利用していた人も多い屋内ゲートボール場の外トイレが、洋式の水洗トイレに改修されました。



改修された屋内ゲートボール場の外トイレ

“町政を知るよい機会”
議会を傍聴してみませんか

次回の
定例会

12月 上旬

古殿町のホームページからご覧いただけます。

古殿町

検索



町議会へ

議会トピックス⑪

田口地区いきいき健康レクの集い 9月21日(日)、「田口地区いきいき健康レクの集い」が女性・若者等活動促進施設で賑やかに開催されました。子どもからお年寄りまで100人が参加。健康体操で体をほぐした後、参加者全員でクイズ「上・下どっち?」と恒例の「宝拾い」。女性限定で〇〇の「詰め放題」などのレクリエーションの次は、豚汁の「ふるまい鍋」が好評でした。(野崎喜彦)

まちの企業紹介

No.21

今回紹介するのは、「竹原化学工業(株)福島工場」の皆さんです。

＊会社の設立を教えてください。

創業 86 周年になる化学素材メーカーです。

竹原化学工業株式会社は、1939年に設立された炭酸カルシウムを中心とする無機粉体のメーカーです。本社は兵庫県明石市にあり、国内外に6つの工場を展開しています。

福島工場は、1967年8月、石灰石の産地である鎌田字竹ノ内地区に新設され、その後、町の誘致企業として58年間にわたり操業を続けています。



福島工場の全景

＊会社における基本的な考え方は何ですか。

「常に品質向上」を目指します。

福島工場の主要製品は、炭酸カルシウム、硫酸バリウム、タルク（滑石）です。粉体材料を国内や中国から調達し、充填、計量、袋詰めを経て出荷しています。当地は石灰石の産地でしたが、その後生産量が減少し、現在は阿武隈地方から材料を仕入れ、硫酸バリウムやタルクは中国から輸入しています。製品はプラスチック、ゴム、接着剤、建材など多様な産業分野で添加材として使用されており、特定の産業に依存せず一定の需要があるため、景気変動の影響を受けにくい傾向があります。当工場の方針は、「製品の品質向上を常に追求し、顧客満足の向上に貢献する」ことであり、従業員16名が一丸となって日々取り組んでいます。



竹原化学工業(株)福島工場 の皆さん

編集後記

議会だより制作の際には、町執行部に対し議会がどのような対処しているかなど、町政や議会についてできるだけ町民の皆さんに分かりやすく、読みやすくをモットーにして編集しています。編集に当たっては、個人情報保護の観点から個人特定ができるような写真掲載は難しい時代になってきました。写真には注意しながら、許可をいただきながら撮影しています。

そして全国の議会だよりコンクールでの入賞を目標として編集作業をしています。議会だよりに関して町民皆さんのご感想やご要望などを含めた率直な声を、我々編集委員にお寄せいただきたいと思います。

(松崎)

議会だより

編集特別委員会

委員長	野崎 喜彦
副委員長	鈴木 隆
委員	根本 重一
委員	根本 太郎兵衛
委員	松崎 法通